



収入安定に期待、複数年契約・輸出米をスタート



◎平成29年産米仮精算

(JA米) (1俵当たり円/60kg・税込)

	等級	概算金	追加払い	合計精算金額
まっしぐら	1等	11,500	1,800 ↗	13,300
つがるロマン	1等	11,700	1,800 ↗	13,500
もち米 全銘柄	2等	5,900	3,000 ↗	8,900

平成30年10月31日現在

「まっしぐら」複数年契約で
安定取引へ

平成30年産米より5年の複数年契約の取り組みをスタートしました。初年度は、管内の米農家4人が品種「まっしぐら」700俵で契約。国による米の生産調整(減反)が廃止されたなか、卸売業者らに複数年にわたって一定価格で販売することで、安定した取り引きが期待できます。

輸出米は管内産「まっしぐら」の質の高さを評価する米卸業者と契約し、平成30年産米より185俵の取引をスタートします。

JAでは複数年契約、輸出米の拡大を図りながら、消費地から評価される産地づくりに取り組んでいます。

米施設の利用量に応じた利用高還元で
生産コスト低減

JAの米施設(カントリーエレベーター・ライスセンター)に出荷した出荷契約米、備蓄米、加工用米、新規需要米に対し利用量に応じて、1俵(60kg)当たり100~350円を還元。



和牛の産地づくりへ支援



県外から導入した雌子牛の体調をチェック

十和田湖和牛の産地確立に向け、優良繁殖雌牛の県外導入、保留牛品評会の実施、枝肉共励会等による銘柄確立に取り組んでいます。畜産経営特別支援対策として、肥育預託家畜に対し預託金利全額助成を実施(29年度金利1.2%、1,531,744円/329頭)。

肉質アップに向けては、北里大学、県民局、家畜保健所などと連携した、牛の採血分析の勉強会を定期的に開催するなど、飼養技術のレベルアップを図っています。



肥育牛の採血勉強会



労力軽減・栽培技術の底上げ



JA育苗施設からトマト苗を運ぶ生産農家



個々の一年の実績を確認する生産農家



ダイコン・ニンジンのハーベスター更新(29・30年度)



ダイコンの受託作業

産地拡大事業の実施(29年度)

ながいもムカゴ優良種苗助成(6t・316人)、種子助成による面積拡大(45.5ha・118人)

6次産業化による加工商品の開発



低臭加工を施した「プレミアムにんにく」を原料に開発した加工品は、「プレミアムにんにくパウダー(80g入・40g入)」、清涼飲料ドリンク「にんにく魂(たましい)」の2種類。ネット販売、道の駅、食品スーパーなどで販売し、手軽な調味料、お土産品としても喜ばれています。ネットショップ販売では加工品のほか、「ナガイモ」「ニンニク」などを購入できます。



「白鵬85の3」の産子40頭 計画通り導入 ～十和田市も助成で導入後押し～

産地強化に向け、和牛改良に取り組む十和田市黒毛和種改良組合は10月18日開催の鳥取県中央家畜市場で、「白鵬85の3」を父とする雌子牛8頭を導入した。平成30年度の優良雌子牛導入事業では、4月から計4回の購入で計画通り合計40頭が導入になった。

優良雌牛導入事業には、十和田市が1頭当たり20万円を助成し、導入する農家を支援する。鳥取県の基幹種雄牛「白鵬85の3」は全国から注目を浴び、4月の導入開始時には1頭500万円超えが出るほどだった。さらに9月子牛市場では、平均購買価格が1頭当たり170万円超えになるなど、上場頭数が少ない中での厳しい購買が続いた。



TOM-VEGEの良さ アピール

～首都圏の実需者が来組～

首都圏の飲食店や青果店など、こだわり食材を求める実需者5人が10月18日、当JAを訪れた。十和田やさいセンターや土壌分析室の見学などを通じ、「十和田おいらせミネラル野菜(TOM-VEGE)」の良さをアピールした。

十和田市と日本野菜ソムリエ協会が連携した同市の産地招へい事業の一環。実需者を招き生産現場などを紹介し、食材の魅力を伝え取引拡大につなげる狙いがある。

農業技術センターでは、斗澤康広営農担当常務が全国屈指の土壌診断装置を活用した健康な土づくりを説明。「おいしさの根源になる微量要素・ミネラルを分析して土づくりをしている」と強調した。



▲十和田野菜センターで首都圏のレストランシェフに、
質の高さをアピール



▲子牛市場が始める前に導入牛をチェック
(鳥取県中央家畜市場で)

沢目政光黒毛和種改良組合長は「現地市場での買い付けは苦労の連続だったが、市の支援が導入を後押ししてくれた。相性の良い本県基幹種雄牛を活用し、本県子牛市場に購買者が多く訪れるようになりたい」と意気込みを話した。



水稻種子、作柄上々

～来春600トン県内へ供給～

十和田市水稻採種組合(山崎誠一代表)は、9月下旬から10月中旬にかけ、種子用米の刈り取りを行った。農産物検査法に基づく検査に合格したものが、来春に県内全域の米農家へ供給になる。

青森県農産物改良協会の委託で、同組合の47戸が計114㌶で種子生産し、約600㌧の収穫量を見込む。品種別では県奨励品種「まっしぐら」420㌧、飼料用米品種「みなゆたか」139㌧、早生の飼料用米「えみゆたか」35㌧。

4.7㌶の刈り取りを終えた生産農家の山崎国男さん(69)は、「上々の作柄で、良質な種子を供給できる」と安堵の表情をみせた。



紙袋に詰め保管される
来春供給分の水稻種子▶

NEWS & TOPIC 地域の話題

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向け、JA十和田おいらせは「創造的JA自己改革」の取り組みを実践中です。



やや細めも作柄平年並み ～秋掘りナガイモ圃場26ヵ所試し掘り～

野菜振興会ながいも専門部会は10月18日、秋掘りの最終試し掘り調査をした。調査の結果、10㌧収量は過去5年の平均をやや上回り、A品率33%と平年並みと見る。管内の収穫は11月中旬から始まる予定だ。

調査は管内の計26ヵ所の圃場から連続で5本ずつ掘り取り、全長、イモ長、全重など7項目を調べた。

芋の肥大期にあたる8月上旬から低温、日照不足が続いたものの、下旬からの天候回復により、生育も持ち直した。調査にあたった、県民局とJAでは本年産について「やや細め傾向」と話す。



▲1本1本の重さを測定

ナガイモ坪掘り調査結果(実施日:30.10.18)

年度別/調査項目	販売重(㌧)	イモ長(㌢)	10㌧収量(㌧)	A品率(%)
30年度	1,046	51.3	3,859	33.0
29年度	1,172	49.6	4,112	42.4
過去5年平均	1,020	49.5	3,628	37.8

ネギ新品種選定へ

～生産者らが現地検討会～

当JAと野菜振興会ねぎ専門部会は10月3日、新たな品種導入に向けた品種別の現地検討会を開いた。管内に設置した試験圃場で7品種の生育状況を確認。種苗メーカーとの調査を基に品種選定を協議した。同部会とJAはシーズン終了後、講習会等で有望品種の説明会を開く。

現在の主力品種は、葉の部分からなるノロと呼ばれる液体が多く出るため、作業面で手間がかかるほか、市場着荷時での傷みにつながるとして改善策が求められている。

現地検討会には種苗メーカー8社の担当者、ねぎ専門部会の役員、職員ら21人が参加した。



▲品種試験の圃場でネギの生育状況を確認する農家ら



ニンニク一層拡大へ

～来年27万球供給～

当JA管内3ヵ所(十和田・七戸・上北)にあるニンニク種子生産圃場で、9月下旬から10月中旬にかけ、種子の植え付けをした。作付面積は3㌶で、JAが栽培管理し来年9月に27万球を生産農家へ供給する計画。

ニンニクの生産農家戸数は714戸、作付面積40㌶で、近年の年間取扱高は20億円前後に上る。当JAでは作付面積増反対に対する種子助成も行っている。馬場義満指導やさい部長は「ニンニク生産に優良種子の確保・供給は重要なため、今後も安定供給に努めていく」と話す。



▲種子生産圃場で、ニンニク種子を植え付けするJA職員



新人職員がブランド野菜売り込み ～JA収穫祭でPR～

今春入組した新人職員12人は10月20、21日の両日、本店で開催したJA収穫祭で「十和田おいらせミネラル野菜(TOM-VEGE)」の試食を提供し、来場者においしさなどをアピールした。

新人職員によるTOM-VEGE(トム・ベジ)のPR活動は4年目。事前に勉強会を開き、栄養価やブランド野菜の特徴、取り組み経緯などを学んだ。

試食では、ナガイモと長ネギ「ばけしらず」のソテーのほか、生ピーマンを提供。ソテーはトムベジの甘みやえぐみの少なさを味わってもらうため、薄く塩コショウし提供した。

新人職員の齊下蓮さん(19)は「おいしいという声がうれしかった。今後多くの人に知ってもらえるようPRしていきたい」と話した。



▲TOM-VEGEの勉強会で、焼きを練習する新人職員



▲JA収穫祭当日、来場者にTOM-VEGEのおいしさを笑顔で伝える新人職員

仲間と日帰りの旅

～女性部横浜町支部の視察研修～

女性部横浜町支部は10月25日、部員の交流を目的に視察研修を行い、津軽方面での日帰り旅行を楽しんだ。

参加部員16人は、西目屋村で水陸両用バス「津軽白神号」に乗車し、紅葉を満喫。今春リニューアルオープンした藤崎町の食産業創造拠点施設「ふじさき食彩テラス」では、農産物や加工品の売り場を見学しながら地元の食材を使った料理を楽しんだ。

参加部員は「天気も良く、素晴らしい景色と食事を仲間と楽しめた」と話した。



▲直売所などを視察した参加部員



秋田で「だるま芋」PR

～市場まつりで試食販売～

下田支店営農経済課は10月20、21の両日、秋田市の丸果秋田県青果株式会社の市場まつりに participated。来場者に「だるま芋」の焼きソテーを試食で提供し、町の特産をアピールした。

だるま芋は、ナガイモより粘りが強く、濃厚な味わい。試食販売では生産農家、JA職員ら5人が焼きソテーにして塩コショウや醤油の味付けで提供した。売り込みした沼館基通係長は「試食をすれば必ず購入してくれた。生産者も励みになったと思う」と話した。



▲だるま芋の試食を提供する生産農家とJA職員

会議、事務の紙を削減

～タブレット端末導入～

当JAは、タブレット端末での「ペーパーレス会議」を始めた。会議方法の改善と、事務の効率化、紙代などのコスト削減につなげる。今後は若手農業者の育成塾や担当者会議などにも活用していく。

タブレットを導入したことでの資料作成の簡素化と、グラフや図・写真などを活用したプレゼンテーション能力の向上が期待できる。

9月25日の部支店長会議で初めて活用した。会議で部課長が説明する際に、資料画面が出席者全員の画面に一斉に映し出され、メモも書き込める。重要なメモは全員の端末機に保存されるため、情報を共有できる。

当JAの小林光浩代表理事専務は「プレゼンテーション向上と資料づくりの効率化を広めて、JA自己改革による良いJAづくりにつなげたい」と強調した。



▲会議でタブレットを使うJA役職員

混乱防ぐ対策を

～来年10月導入の軽減税率制度学ぶ～

当JAと十和田税務署は10月25日、本店と上北支店で農業者向け「消費税の軽減税率制度」の説明会を開いた。参加農家らは、制度全般の流れや現行制度との違い、軽減税率導入後の経理方法などを学んだ。

本店の説明会には50人が出席。十和田税務署の担当職員が直売や委託販売などを想定して、軽減税率導入後の課税売上高の考え方などを説明した。

説明会は11月13日(火)に本店、21日(水)にはむつ支店で開く。当JA、十和田税務署では事前説明会への積極参加を呼び掛けている。



▲軽減税率の制度を学ぶ参加者



中学1年生が野菜の商品提案

～三本木高等学校附属中学校が職場体験～

県立三本木高等学校附属中学校の1年生13人が10月26日、十和田やさいセンターを訪れ、「十和田おいらせミネラル野菜(TOM-VEGE)」を使った商品開発やPR方法などをJAに提案した。

生徒は、事前に地元の農畜産物や、現代の食の志向、消費動向などを調査。「ゴボウ・ナガイモ入りの肉まんは食感が楽しめる。市内に多いコンビニと連携して開発したらどうか」「レトルトの野菜ケーキの素があったら手軽」「野菜せんべいで米も消費拡大につながる」など、アイディアを発表した。



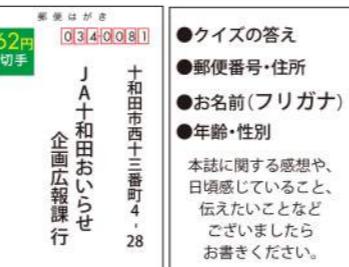
▲自分たちの商品アイディアをJAに提案する生徒



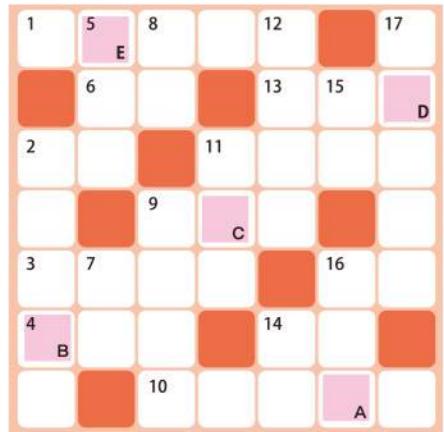
出題／ニコリ

正解者プレゼント

正解者の中から抽選で10名の方に

QUOカード
1,000円分
プレゼント

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



出題／ニコリ

郵便はがきの料金が昨年から**62円**に変更になりました。料金不足の場合は、お受け取りできませんので、ご注意ください。

●クイズの答え

- 郵便番号・住所
- お名前(フリガナ)
- 年齢・性別

本誌に関する感想や、日頃感じていること、伝えたいことなどございましたらお書きください。

当日の消印有効

[応募方法]
ハガキ又はFAXで。
FAX/0176-24-1829

頂いた個人情報は、このたびの用途以外には一切使用いたしません。



ヨコのカギ



- サンタさんが靴下に入ってくれるかも
- 腰を掛ける家具
- 自動車を洗ってからかけます
- ブームが去った状態です
- 牛や豚などの舌の肉
- 15歳が志学、30歳が而立
(じりつ)なら40歳は
- 肉や魚を裁断したときに出る余りのところ
- 赤——だから青になるまで待とう
- カレー—— ハヤシ——
- 地獄谷にいるものは温泉に入ります
- それとこれとは話が——だよ

タテのカギ



- 17 16 15 14 12 11 9 8 7 5 2
- 賛腰棋洗自陰歲建夕磐
成に士灌動曆末の物マ梯
す巻が物車12大反のデ山
い打を月壳対壁シの南側
人てつぶ荷のり覆ともにあ
がバもら物異出しのうもにあ
多ッの下をげ入れるとこ
いク見ればれるとこ
竟見でを留めますで2等が當たつた
一敬称略

頭の体操パズル?
当選者発表

先月号のクイズの答え:バンシュウ
応募数／63通

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| ●スガワラ ミツコ | ●リキイシ トモコ | ●エビナ キコ |
| ●タキサワ ヨシコ | ●シモヤマ ミヅエ | ●カシワザキ トモコ |
| ●スギモト テルキ | ●ヌマハタ サチコ | ●タキウチ マサトシ |
| ●エビナ マキコ | —敬称略 | |

我が家は3世代同居なので、何かあった時の口座の凍結が心配です。手続きがスムーズに出来るようにセミナーをやって欲しいです。(50歳女性、十和田市)
（編）年金相談会、年金セミナー等も開いています。窓口でお気軽に相談ください。

「腕じまん」のレシピのおかげでメニューが増えそうです。
(68歳女性、東北町)

（編）今月は「いきいきレシピコンテスト」の入賞者の料理です。ぜひ試してみてください。

生まれて初めてニンニクの植え付けを体験しました。収穫の時、どのくらい大きくなっているのか楽しみです。
(17歳女性、東北町)

（編）お疲れさまでした。大きいニンニクが収穫できると良いですね。

素敵な絵葉書ありがとうございました。
(64歳女性、東北町)



Ag fresh

ご愛読ありがとうございます。
今月もたくさんのお便りを頂きました。

「おいらせ町秋の農業祭り」は、天気に恵まれ孫の踊り、bingo大会など楽しい1日になりました。
(女性59歳、おいらせ町)

J A 収穫祭は、すごい賑わいで楽しかったです。買い物、おいしいものを食べて楽しかったです。職員のみなさん笑顔の対応、お疲れ様でした。
(女性60歳、十和田市)

（編）JA 収穫祭、農業祭りにたくさんのお便りありがとうございました。
楽しんでもらえて良かったです。

最近、「無限ピーマン料理」にはまってます。おいしいですよ！
(60歳女性、十和田市)

（編）「無限ピーマン」は、ピーマンの細切りにツナ缶、ゴマ油、鶏がらスープの素で炒める料理ですね。私も大好きです。

あぐれっしゅ読者のリアルボイスをお届けします！



JAグループの子会社は、JAが100%出資し、専門的事業を行っています。

(株)協同サービス

主な事業内容 葬祭業、生花部(フラワー・ハウスあぐり館)、酒類販売部(酒の藤坂店)
十和田地域広域斎苑指定管理

◎永代供養に高い関心

(株)協同サービスは10月20、21の両日、JA 収穫祭と共に催して施設の内覧会と終活セミナーなどを開いた。両日とも多くの人が訪れ、各種セミナーでは講師からお墓や供養の問題など、アドバイスを受けた。

2日目の特別セミナーでは、上級終活カウンセラーの村井麻矢さんが「これからのお供養 樹木葬・永代供養について」講演。県内で一番注目を集めるカウンセラーとあって、100人の参加者で会場を埋め尽くした。

村井さんは「人生の終焉(しゅうえん)を考えることにより、今をよりよく生きることができる。自分らしく、充実した人生を」と述べた。

会場では終活写真撮影会、ペットの供養品や仏具などの展示販売なども行われた。



協同サービス TEL.0176-21-1500

(株)エコー／JA-S S

主な事業内容 生産資材の卸、燃料事業、農機具・自動車販売・修理
福祉事業、旅行事業 など

◎山田さやかさん・阿部宮子さんが最優秀賞～県JA-S Sドライブウェイサービスコンテスト～

J A 全農あおもり主催の「平成30年度青森県JA-S Sドライブウェイサービスコンテスト」が9月14日、JA津軽みらいセルフくりいしSSで行われ、フルサービスの部で山田さやかさん(十和田湖SS)、セルフサービスの部では阿部宮子さん(八郷SS)が最優秀賞に輝いた。



山田さやかさん 十和田湖SS 阿部宮子さん 八郷SS



県内のJA・子会社から17人が出場し、接客サービスを競い合い、明るいセールストークを披露。お客様目線、知識、技術などの項目が審査された。

JAグループ/J A全農あおもり/(株)エコー

全国一万人の声を反映した共同購入トラクター誕生！

必要な機能に絞ることで、充実した性能ながら低価格を実現！

希望小売価格(税込)5,767,200円(税別 5,340,000円)のところ…

J A特価 3,700,000円(税込)

※ラジアル仕様は18万円高(税込)



ヤンマー
YT357J,ZUQH(ハイラグ仕様)

お問い合わせ先 (株)エコー 車検センター TEL:0176-25-2670

本支店金融窓口では、低金利の資金相談をお受け致します。
お気軽にお問い合わせください。

役員室のつぶやき Vol.46

組合員のみなさまに、JA常勤役員を身近かに感じてもらうコーナーです！

「農協の社会貢献はSDGsも」

現代の世界情勢は、多国籍大企業が自由競争社会の名の下で世界経済を支配する時代であるが、その最大の弊害となっている経済格差の拡大、貧困の拡大、都市と農村・中央と地方の格差拡大、地方・農村の崩壊、福祉の縮小・切捨てなどが国際社会の共通問題となっている。今、国際社会の話題は、地球環境での持続可能な開発をすすめることである。これを2015年の9月の国連サミットで話し合われて「持続可能な開発目標(SDGs)」を決定し、2015年から2030年までの世界目標とした。

このSDGsは、国際社会共通の17目標と、169のターゲット(具体的目標)でできている。その17目標とは、①貧困をなくそう、②飢餓をゼロに、③すべての人に保険と福祉を、④質の高い教育をみんなに、⑤ジェンダー(社会的・心理的性別)の平等(男女の平等)を実現しよう、⑥安全な水とトイレを世界中に、⑦エネルギーをみんなに・そしてクリーンに、⑧働きがいも・経済成長も、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑩人や国の不平等をなくそう、⑪住み続けられるまちづくりを、⑫つくる責任・つかう責任、⑬気候変動に具体的な対策を、⑭海の豊かさを守ろう、⑮陸の豊かさを守ろう、⑯平和と公正を全ての人々に、⑰パートナーシップで目標を達成しよう。

特に⑰パートナーシップは、英語の意味では「複数の個人または法人が共同で出資し、共同で事業を営む組織」のことなので、まさに協同組合で目標を達成しようとの理解にもなる。我らが農協も、農業所得向上と地域社会貢献、そしてこのSDGsを意識した国際社会貢献を目指す時代に来ている。

代表理事専務 小林 光浩

総務部

11月1日から 営業時間を変更しています。

営業時間…8:30～16:30

期間…平成31年3月31日まで

*詳細については、各支店・事業所、野菜センター等に貼り付けしますので、ご確認ください。

理事会だより(第7回:10月30日)

議案

- ▶信用事業における事業運営モデル選択を承認する。
- ▶平成30年産ナガイモ仮渡金および前渡金を承認する。

◆仮渡金

→入庫1サンテナ当たり 3,000円(上限)
スチールコンテナ1基当たり 60,000円。

◆前渡金

→入庫予定1サンテナ当たり 2,000円(上限)
スチールコンテナ1基当たり 40,000円。

*11月上旬より支払い。市況価格の変動に伴う単価変更は組合長に一任する。
一ほか

報告事項

- ▶横浜町支店倉庫跡地の売却について
- ◆資産名: 横浜町支店倉庫跡地
上北郡横浜町字館ノ後59番1 387.84m²
- ▶担い手パワーアップ・アクションの中間報告について

監事會だより(第7回) 理事会終了後、本店2階 常勤監事室・監査課で実施

議案第1号

- ▶平成30年度上半期棚卸監査の結果について 一ほか

・総務部・人事異動(30年11月1日付)

新任		旧任	
所属	職務	氏名	所属
共済部	共済事務課	赤崎 千枝	総務部 総務課付

編集者の日和日記

一雨ごとに寒さが増してきた。八甲田山からは初冠雪の便りも届き、一歩ずつ冬の気配を感じる。ナガイモの蔓も黄色に色づき、紅葉に負けない色鮮やかさが目に留まる。

今月号ではJA収穫祭、おいらせ町秋の農業まつりを紹介した。8月から始まったJAまつりは、11月上旬まで本支店7ヵ所で開き、各会場とも大勢の人でぎわった。JAまつりは、地域住民や農家組合員とのふれあいのほか、地域のJAであることをアピールする催しもある。JAが地域になくてはならない存在であるよう、こうした交流や地域貢献などを通じ、農協への理解推進に努めていきたい。

金融部

年金セミナーを開催します！

40代、50代と年齢を重ねるたびに気になってくるのは公的年金の受給についてではないでしょうか。

「公的年金はいくらもらえるの?」「ねんきん定期便はどう見る?」など、年金の基本的な知識、ノウハウを学べるセミナーです。どなたでも参加できます。参加無料です。



支店名	セミナー開催日	開催場所	開催日時
十和田管内の支店	平成31年1月12日(土)	本店	
ももいし支店	平成31年1月19日(土)	下田支店	午後1時30分～午後3時30分
下田支店			
上北支店	平成31年1月26日(土)	七戸支店	
七戸支店			

いずれも事前の申し込みが必要です。

*社労士 山岸孝行 ○年金セミナーは、資料を使って「年金制度の仕組み」を学んでいきます。
お問い合わせ、お申込みは、本支店金融窓口まで。

金融部

農業応援金融商品

J A 住宅ローン

最大「6,000円」相当プレゼント実施中!!

期間: 平成31年3月29日(金)まで

金利にお悩みの方、マイホームの購入を検討されている方は、JAにご相談を!

詳しくは本支店金融窓口へお問い合わせください。

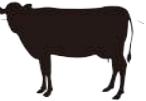
米穀畜産部

10月 県家畜市場子牛販売成績(黒毛和種)／開催日: 平成30年10月12日

販売金額 種雄牛	雌			去勢			(金額:千円)	地区別
	上場頭数	高値	平均	上場頭数	高値	平均		
第1花国	10	1,300	813	20	1,458	1,011		
平安平	6	784	695	12	1,293	939		
勝早桜5	7	1,076	723	8	1,534	1,128		
美津照重	6	924	679	8	1,003	822		
幸紀雄	4	824	763	8	1,210	951		
計	33	-	735	56	-	970		

1種雄牛上場 上位5頭を記載/JA取り扱い分

※5種混合ワクチン及び、キャトルワインSHSの接種が上場条件。12月市場開催日／平成30年12月7日(金)



(金額:千円)

地区	雌			去勢		
	頭数	平均価格 (千円)	平均体重 (kg)	頭数	平均価格 (千円)	平均体重 (kg)
十和田地区	38	731	295	310	59	921
十和田湖地区	7	801	304	304	18	964
むつ地区	9	722	301	316	28	882
青森県全体	163	660	292	306	277	816

青森県全体については青森県家畜市場データ参照

※販売金額は税抜価格。

30年度十和田湖和牛枝肉研究会成績

開催日: 平成30年10月19日／東京都中央卸売市場(食肉市場)

当JA、JAゆうき青森、七戸畜協から23頭上場。†当たりの平均単価は去勢2,371円、雌2,171円。

優秀賞／加賀 訓【十和田湖】(去勢・A5等級BMS9／†単価 2,548円)

優良賞／川村堅逸【十和田湖】(去勢・A5等級BMS9／†単価 2,533円)